平成22年4月16日 構造バイオインフォマティクス基礎

# 立体構造データベースと その利用

#### 東京大学大学院農学生命科学研究科 アグリバイオインフォマティクス 教育研究ユニット 寺田 透

### 講義の予定

- 1. 4月16日(金) 担当:寺田 透 内容:タンパク質立体構造データベースとその利用 2.5月7日(金) 担当:永田宏次 内容:X線結晶構造解析法 3. 5月26日(水) 担当:伊藤 隆(首都大学東京) 内容:核磁気共鳴(NMR)法 4. 6月11日(金) 担当:光岡 薫(産業技術総合研究所)
  - 内容:電子顕微鏡による立体構造決定

### 本日の講義内容

- 立体構造データベースへのアクセス
  - 検索
  - データフォーマット
  - 立体構造データの可視化
  - 立体構造決定法
- 配列データベースとの連携
  - 配列データベースからのリンク
  - 配列からの検索
- 立体構造比較
- 階層的立体構造分類データベース
- 実習

### 立体構造データベース

- Protein Data Bank (PDB)
- タンパク質、核酸などの生体高分子の立体構 造を収集、公開している世界で唯一のデータ ベース
- 2010年4月時点でのエントリ数は約64,500
- 主なWebサイト
  - 米国 : http://www.rcsb.org/
  - 欧州:http://www.ebi.ac.uk/pdbe/
  - 日本: http://www.pdbj.org/

### データベースへのアクセス

#### RCSBのサイト(http://www.rcsb.org/)



検索

- ・キーワード
  - 立体構造データに対するテキスト検索
  - 例: "HIV Protease", aquaporin, etc.
- PDB ID
  - 数字1文字と英数字3文字からなる、各立体構造 データに固有のID
  - 例:1HVR, 1J4N, etc.

### 検索結果の表示

• 上部のタブをクリックして表示を切り替える

	An Information Portal to Bio As of Tuesday Apr 06, 2010 at 5 PM PDT	MyPDB Login     A MEMBER OF THE      PDB     logical Macromolecular Structures     there are 64500 Structures
HELP   PRINT	PDB ID or Text	Search ?   Advanced Search
Home Hide     News & Publications     Usage/Reference Policies     Deposition Policies     Website FAQ     Deposition FAQ     Contact Us     About Us     Carreers	Commercy         Derived Data         Sequence         Seq. Similarity         3D Similarity         Literature         Biol. & Chem.         Methods         Geometry         Life           RATIONAL DESIGN OF POTENT, BIOAVAILABLE, NONPEPTIDE CYCLIC UREAS AS HIV PROTEASE INHIBITORS         DOI:10.2210/pdb1hvr/pdb	<b>1HVR</b> Display Files <b>v</b> Download Files <b>v</b> Print this Page Share this Page

- Summary: 文献、組成
- Derived Data: 立体構造類似性に基づく分類
- Sequence: 配列データベースへのリンク、2次構造
- Biol. & Chem: 生物学•化学情報
- Methods: 立体構造決定方法に関する情報

## データのダウンロード

右上の「Download Files」から立体構造デー
 タをダウンロードできる



「PDB File (Text)」を選び、デスクトップの保存する

### PDBフォーマット(1)

- PDBファイルをワードパッドを用いて開く
- フォントを「MS ゴシック」にすると見やすくなる
- 冒頭部分には、生体高分子の名前や由来、文献等のデータが記載され ている

HEADER	HYDROLASE(ACID PROTEINASE) 14-FEB-94 1HVR	1HVR	2
COMPND	HUMAN IMMUNODEFICIENCY VIRUS TYPE 1 (HIV-1) PROTEASE	1HVR	3
COMPND	2 COMPLEXED WITH XK263 OF DUPONT MERCK	1HVR	4
SOURCE	BH102 HIV-1 EXPRESSED IN (ESCHERICHIA COLI)	1HVR	5
AUTHOR	CH.CHANG	1HVR	6
REVDAT	2 15-MAY-95 1HVRA 1 REMARK	<b>1HVRA</b>	1
REVDAT	1 26-JAN-95 1HVR 0	1HVR	7
JRNL	AUTH P.LAM, P.JADHAV, C.EYERMANN, N.HODGE, Y.RU, L.BACHELER,	1HVR	8
JRNL	AUTH 2 J.MEEK, M.OTTO, M.RAYNER, Y.WONG, CH.CHANG, P.WEBER,	1HVR	9
JRNL	AUTH 3 D.JACKSON, T.SHARPE, S.ERICKSON-VIITANEN	1HVR	10
JRNL	TITL RATIONAL DESIGN OF POTENT, BIOAVAILABLE,	1HVR	11
JRNL	TITL 2 NONPEPTIDE CYCLIC UREAS AS HIV PROTEASE INHIBITORS	1HVR	12
JRNL	REF SCIENCE V. 263 380 1994	1HVR	13
JRNL	REFN ASTM SCIEAS US ISSN 0036-8075 0038	1HVR	14
REMARK	1	1HVR	15
REMARK	2	1HVR	16
REMARK	2 RESOLUTION. 1.8 ANGSTROMS.	1HVR	17

### PDBフォーマット(2)

1	2	3	4	5	6	$\overline{\mathcal{I}}$	8	9	(10)	1	
ATOM	1	N	PRO	А	1	-12.735	38.918	31.287	1.00	39.83	1HVR 181
ATOM	2	CA	PRO	Α	1	-12.709	39.097	29.830	1.00	39.29	1HVR 182
ATOM	3	С	PRO	Α	1	-13.575	38.051	29.162	1.00	39.78	1HVR 183
ATOM	4	0	PRO	Α	1	-14.097	37.126	29.753	1.00	38.67	1HVR 184
ATOM	5	CB	PRO	Α	1	-11.243	39.010	29.398	1.00	37.79	1HVR 185
ATOM	6	CG	PRO	Α	1	-10.636	38.128	30.469	1.00	38.69	1HVR 186
ATOM	7	CD	PRO	Α	1	-11.368	38.593	31.729	1.00	37.10	1HVR 187
ATOM	8	<b>1H</b>	PRO	Α	1	-13.142	39.756	31.758	0.00	15.00	1HVR 188
ATOM	9	2H	PRO	Α	1	-13.429	38.158	31.502	0.00	15.00	1HVR 189
ATOM	10	N	GLN	А	2	-13.682	38.255	27.876	1.00	41.01	1HVR 190

①レコード名(標準アミノ酸はATOM、非標準はHETATM)

②原子番号

③原子名(主鎖アミド窒素:N、 $\alpha$ 炭素:CA、 $\beta$ 炭素:CBなど)

④残基名(3文字表記)

5 Chain ID

- ⑥残基番号(配列データベース中の番号に一致させる)
- ⑦⑧9それぞれ原子のx, y, z座標 [Å]
- ① occupancy (その原子の重み因子、通常は1.00)

①温度因子B[Å<sup>2</sup>](X線結晶解析で決定されている場合のみ意味がある)

# 立体構造データの可視化

- ・立体構造はPDBデータを可視化するソフト
   ウェアを用いて表示できる
  - RasMol(http://www.openrasmol.org/)
  - PyMol(http://www.pymol.org/)
  - Swiss PDB Viewer(http://spdbv.vital-it.ch/)
  - UCSF Chimera (http://www.cgl.ucsf.edu/chimera/)
- 本講義では、Discovery Studioを使用







# Hierarchy Windowの表示

- メニューの「View」→
   「Hierarchy」からHierarchy Windowを表示する
- ▶をクリックすると階層(チェイン・残基など)に属する残基・
   原子が展開して表示される
- チェックボックスのオン・オフ
   で表示・非表示が切り替えられる

- 🧉 📝 🔂 <Cell>
  - 🧉 📝 🔧 1HVR
    - 📝 🗱 ProteinSequence
    - 🖻 🔽 🗢 A
    - 👂 📝 😁 B
    - 👂 🔽 👄 A
      - 🔽 🕄 Hetatm
    - Protein Groups

# 3D Windowの操作(1)

- 3D Windowの中を左クリックしてアクティブにしてから以下の操作を行う
- 回転

- ♥をクリックしてから3D Windowの中で左ドラッグ

• 並進

- ∲をクリックしてから3D Windowの中で左ドラッグ

・ズーム

- ☞をクリックしてから3D Windowの中で左ドラッグ

### 3D Windowの操作(2)

- 選択
  - 3D Window上で原子をクリック→その原子が選択され、 黄色い四角でマークされる
  - 3D Window上で原子をダブルクリック→その原子を含む 残基が選択され、マークされる
  - Hierarchy Windowでもチェイン、残基、原子、グループ (backboneなど)単位で選択できる
  - 何もないところをクリックすると選択を解除できる
  - Hierarchy WindowではCtrlキーを、3D Windowでは Shiftキーを押しながらクリックすると複数選択ができる
- 属性(attribute)
  - 選択した後右クリックで表示できる

# 3D Windowの操作(3)

- Home 🖾
  - 最初の向き、位置に戻す
- Fit to Screen II
  - (選択した)構造をWindowにフィットするように並進、拡大・縮小
- Center Structure
  - (選択した)構造の中心がWindowの中心に来る
     ように並進

# リボン表示

- Display Styleアイコン III を クリック
- •「Atom」タブをクリック
- •「None」を選択
- 「Protein」タブをクリック
- 「Schematic」を選択
- 「Coloring」をColor by:
   「Secondary Type」に設定
- •「OK」ボタンを押す





# リガンドの表示

- Hierarchy Windowで2つ
   目のAの左側の▷マーク
   をクリックして展開
- リガンド(XK2263)をク リックして選択 →黄色でマークされる
- Display Styleアイコン III
   をクリック「Stick」を選択し「OK」

1	Ð	<cell></cell>
۵	1	🔥 1HVR
		📝 👯 ProteinSequence
	$\triangleright$	🔽 😔 A
	$\triangleright$	🔽 😔 B
	۵	🔽 🚗 A
		V 🔽 📈 XK2263
		🔽 🕄 Hetatm
	$\triangleright$	📝 🅢 Protein Groups



## 溶媒接触表面の表示

- Display Styleアイコン ■をクリックし、「Atom」タブで「Line」を選択、「Protein」タブで「Off」を選択し「OK」→もとの表示に戻す
- ・メニューの「Chemistry」→「Charge」→「Calculate」
   で部分電荷を計算
- ・メニューの「Structure」
   →「Surface」→「Add」
   を選択
- 「Display Style」で
   「Solvent」を選択し
   「OK」→静電ポテ
   ンシャルで色分け

Create Surface		<b></b>
Display style Solvent Soft VDW Surface rendering Solid Wire mesh	Coloring Color by: Interpolated charge  By grid. Colors	OK Cancel Help
Probe radius: 1.4	⊘ Custom:	
Transparent Opaque	Custom Reverse Side:	
Reverse Side	Open   Closed	.4

# 相互作用の検出(1)

- 水素結合の検出
  - X線結晶構造解析から得られた構造には水素原子の座 標が含まれていないことが多いため、重原子間の距離で 判定する
  - 水素結合を形成する重原子(窒素や酸素)間の距離は概 ね2.8 Å~ 3.5 Å
- Hierarchy WindowでリガンドXK2263を選択
- ・メニューの「Structure」→「Monitor」→
   「Intermolecular HBonds」を選択→分子間水素結 合ペアが緑色の破線で表示される

# 相互作用の検出(2)

- 疎水性相互作用は原子間距離で検出
- Hierarchy WindowでリガンドXK2263を選択
- メニューの「Edit」→「Select」を選択
- Selection Modeを「Add」、Scopeを「AminoAcid」
- 「Radius」を選択し、
   右図のように設定
- 「Apply」を押す

   →リガンドから5Å
   にある残基が選択
   される

Select			×		×
Selection Mode Add	•	Scope	AminoAcid	•	
Select by					
<ul> <li>Property</li> <li>Radius</li> <li>Extension of par</li> </ul>	Name - All - tial selection to whol	equals within AminoAcids	•	5.00 🜩	<b>↓</b> angstroms
	Арр	ly Create	Group Clos	se	Help

データの保存

- メニューの「File」→「Save As」でデータを保 存できる
- 3D Windowをアクティブにして保存すると、独 自形式(\*.dsv)やPDB形式(\*.pdb)の他、画 像(\*.png)としても保存できる
- Sequence Windowをアクティブにして保存すると、Fasta形式(\*.fasta)等で保存できる

# 立体構造決定法

- ・ 主な立体構造決定法
  - -X線結晶構造解析
  - 核磁気共鳴(NMR)法
  - 電子顕微鏡



・エントリ数の比較(平成22年4月現在)

実験の種類	エントリ数		割合 [%]	
X線結晶構造解析		55,836		86.4
NMR		8,336		12.9
電子顕微鏡		288		0.4
複数	ских за за сели х за за осели х за за сели х	19	***************************************	0.0
その他		144		0.2
 合計		64,623		100.0

# 立体構造データ利用上の注意

#### X線結晶構造解析

- 精度の指標:分解能
- 立体構造データの特徴
  - - 立体構造データに水素原子
     が含まれない
  - 運動性が高い領域で原子座 標が欠失していることがある
- 結晶学的な最小単位の立体構造が登録されている
- 結晶中で隣接分子と非生 理的な相互作用をすること がある

#### NMR

- 精度の指標:RMSD\*
- 立体構造データの特徴
  - 実験データを満たす構造の 集まりで表現
  - 実験データが少ない領域で 立体構造がばらつく
- 実験で使用した分子の立体構造が登録されている
- 溶液中で測定するため、非 生理的な相互作用をすることはない

\*RMSD: root mean square deviation(根平均2乗変位)

# **Biological unit**

- 生物学的に機能しうる 最小限の分子構成を biological unitと呼ぶ
- X線結晶構造解析では、
   登録されている立体構 造がbiological unitとは
   異なる場合がある
- RCSBのサイトでは biological unitの座標 がダウンロードできる



#### 3PHVに登録され ている座標

#### Biological unitの座標



### 隣接分子との接触の例



Chymotrypsin Inhibitor 2 (2CI2)の例 1単位格子に12分子 隣接分子間で水素結合を 形成している



# NMR構造の例

- ・ UCSF Chimeraを使用
- メニューの「File」→「Fetch by ID」を選択し、PDB IDとして1HCTを指定して「Fetch」



 $\lceil \text{Action} \rfloor \rightarrow \lceil \text{Atoms/Bonds} \rfloor \rightarrow \lceil \text{show} \rfloor$  $\lceil \text{Action} \rfloor \rightarrow \lceil \text{Atoms/Bonds} \rfloor \rightarrow \lceil \text{wire} \rfloor$  $\lceil \text{Action} \rfloor \rightarrow \lceil \text{Ribbon} \rfloor \rightarrow \lceil \text{hide} \rfloor$ 

 $\lceil \text{Action} \rfloor \rightarrow \lceil \text{Atoms/Bonds} \rfloor \rightarrow \rceil$  $\lceil \text{backbone only} \rfloor \rightarrow \rceil$ 

### 構造の比較(1)

・ ヒトSrc SH2ドメインと基質ペプチドの複合体はX 線結晶構造解析もなされている 1.「File」→「Open URL」を選択 2.PDB IDを選び、1SHDと入力して「Open」 3. 「File」→「Open URL」を選択 4.PDB IDを選び、1HCTと入力して「Open」 5. Hierarchy windowで1HCT model 1をクリック して選択したのち、右クリックして「Copy」 6.1SHDの3D Windowで右クリックして「Paste I

### 構造の比較(2)

### 7. 「Sequence」→「Show Sequence」を選択





### 構造の比較(3)

- Sequence windowで1SHDを選択 (配列の背景が黒色になる)
   10.1SDHの3D Windowをアクティブにし、 「Structure」→「Superimpose」→ 「By Sequence Alignment」を選択
- 11.「Molecules to superimpose」のリストから1HCT を選び、「OK」
- 12.RMSDが表示され、 3D Windowでは1HCT の構造が1SHDに重ね あわされている

Superimpose by Sequence Align	ment <b>Exa</b>				
Reference molecule:	[ISHD -				
Sequence alignment:	[1SHD •				
	1HCT				
Molecules to superimpose:					
Selected reference residues onl	у				
O-Alpha atom in each residue	Main-chain atoms of each residue				
Iransformation matrices added into molecules to superimpose with name: NCS					
Generate transformation matrix only					
	OK Cancel Help				

### 構造の比較(4)





主鎖構造はよく似ているが、リン酸基と相互作用している残基が異なる

X線構造では、182~185残基の 構造がないことに注意

# 配列データベースからのリンク

- 代表的なタンパク質配列データベース Swiss-Prot(http://www.expasy.ch/sprot/)
   を開く
- 2. 右上のテキストボックスに"SRC\_HUMAN"と 入力し「Go」
- 3. 検索結果の下のほうに、"3D structure database"のセクションがあり、1HCTや 1SHDが現れていることを確認すること

## 配列からの検索(1)

- 1. NCBI BLASTのサイトにアクセス (http://blast.ncbi.nlm.nih.gov/Blast.cgi)
- 2. Basic Blastにある「Protein BLAST」をクリック
- 3. 新しいタブで講義のページを開き、1HCT.fasta をクリック
- 4. 右クリックして、「すべて選択」を選んだあと、再 び右クリックして、「コピー」
- 5. BLASTのページの「Enter accession number, gi, or FASTA sequence」のテキスト エリアの中で右クリックし、「貼り付け」

### 配列からの検索(2)

6. Choose Search SetのDatabaseを「Protein Data Bank proteins (pdb)」に設定

7. BLASTをクリック

CRI/ BLAST/ Maste s		
esta blasto blas	stx tblestn tblestx	
Enter Ourse O	BLASTP programs search protein databases using a protein query. more	Restore Bookmark
Enter Query Si	equence	
Enter accession n >1HCT:B PDBID  MDSIQAEEWYFGKI LDSGGFYITSRTQ FNSLQQLVAYYSKI	umber, gL, or FASIA sequence and Clear Clear Cleary subrange and Clear Clear Cleary subrange and Clear Clear Cleary subrange and Clear Cle	
Or, upload file	· 御祝	
Job Title	1HCT:BIPDBIDICHAIN/SEQUENCE	
	Enter a descriptive title for your BLAST search 🤢	
Align two or m	nore sequences 😡	
Choose Searc	h Set	
Database		
	Protein Data bank proteins(pdo)     V	
Organism Optional	Enter organism name or idcompletions will be suggested 🛛 🗈 Exclude 💌	
	Enter organism common name, binomial, or tax id. Only 20 top taxa will be shown. 😡	
Exclude Optional	Models (MMXP)     Uncultured/environmental sample sequences	
Entrez Query		
Optional	Enter an Entrez query to limit search 😡	
Program Selec	ction	
Algorithm	Natto (vetain-vetain BLAST)	
	Base (potencycles)     Bester (Decition Specific Iterated BLAST)	
	Portuge (Postular operation (Postular operation)     Portuge (Postular operation)     Portuge (Postular operation)	
	Choose SI 455 shorthm @	
BLAST	Search database Protein Data Bank proteins(pdb) using Blastp (protein-protein BLAST)	

### 立体構造比較(1)

Options

Click Here to show the acknowledgements

related to our structure comparison feature.

- 1. RCSBのホームページを開く
- 2. 左側のメニューのToolsにある 「Compare Structure」をクリック
- 3. PDB1(= 1WW9), PDB2(= 1ND0)Comparison Methodに「jCE」を設定し [Compare]



#### RCSB PDB Protein Comparison Tool

Calculate pairwise sequence or structure alignments.

Compare the following two proteins 🤋	Alignment Options
PDB1: Chain1: A (sequence: MANVDEAILKRVKGWAPYVDA -	Align custom files (Launches a Java Web Start application)
PDB2: Chain2: A (sequence: MNYNNKILVSESGLSQKHLIHGI - 1NDO	Show Example (4HHB.A vs 4HHB.B Java- FatCat, rigid) More documentation on the RCSB PDB protein structure alignments
jCE algorithm - Java Web Start	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Compare	Acknowledgements

If you are having problems launching Java Web Start applications, view our troubleshooting Java Web Start page for more help.

### 立体構造比較(2)

### 4. 以下をクリックして、jCEを起動

#### Java Web Start

The comparison should automatically start using Java Web Start. If it does not, please click here:

Launch Structure Alignment for 1WW9.A vs. 1NDO.A.

If you are having problems launching Java Web Start applications, please view our troubleshooting Java Web Start page for more help.



# 立体構造比較(3)

- ・ 類似性の指標
  - Z-Score: 5.86(偶然に類似する確率; 大きいほど 低い)

>4.5 family level similarity

- 4.0-4.5 superfamily level similarities, strong function related similarities or strong recurring fold
- 3.7-4.0 twilight zone where some similarities of biological significance can be seen
- <3.7 similarities of low significance, but still some biologically important similarities can be revealed, but interpretation normally requires additional evidence.</p>

- RMSD: 4.34 Å(立体構造のずれ)

### 立体構造比較(4)

3.でComparison methodを「blast2seq」にすると、
 配列アラインメントが表示される

1WW9: 41 GEPKTLKLLGENLLVNRI-DGKLYCLKDRCLHRGVQLSVKVECKTKSTITCWYHAWTYRW 99 T K+ + ++V+R DG + + C HRG L V VE G+ C YH W + 1NDO: 52 GDYVTAKMGIDEVIVSRONDGSIRAFLNVCRHRGKTL-VSVEAGNAKGFVCSYHGWGF-- 108 blast2seq  $\overline{}$ -1WW9: 100 EDGVLCDILTNPTSAQIGRQKL-----KTYPVQEAKGCVFIY-LGDGDPPPL-Ö ---- 145 V+ G FIY D + PPL RMSD 1NDO: 109 -- GSNGELQSVPFEKDLYGESLNKKCLGLKEVARVESFHG--FIYGCFDQEAPPLMDYLG 164 --ARDTPPNFL-DDDMEILGK--NQIIKSNWRLAVEN 177 1WW9: 146 Α ΡF +E++G+TK+NW+ΕN 1NDO: 165 DAAWYLEPMFKHSGGLELVGPPGKVVIKANWKAPAEN 201 1009: 13 KGW -APYV---DAKLG---FRNHWYPVMF ⊲ 1NDO: 6 KILVSESGLSOKHLIHGDEELFOHELKTIFARNWLFLTHDSLIPAPGDY 34 4 -VECKTKSTITCWYHAWTYRWEDGVLCDILTNP---TSAQIGRQKLKTY-P 1009: 64 CLKDRCLHRGVOLSVK-ШС RMSD: LVSVEAGNAK----GFVCSYHGWGFGSN-GELQSVPFEKDLYGESLN 1NDO: 1WW9: 126 PLARDT--PPNFLD---DDMEILGK---NQIIKS--NWRLAVENG-FDPSHI 1NDO: 141 VESFHGFIYGC-FDOEAPPLMDYLGDAAWYLEPMFKHSGGLELVGPPGKVVIKANWKAPAENFVGDAYHV

# 立体構造比較の利用

- ・配列同士のアラインメントより、機能的に意味のある残基同士の対応付けが可能
- ・ 立体構造の類似性の指標を用いて、立体構造
   をクエリとして、類似立体構造を検索できる
  - 主なサイト
    - VAST (http://www.ncbi.nlm.nih.gov/Structure/VAST/)
    - Dali (http://ekhidna.biocenter.helsinki.fi/dali\_server/)
    - CE (http://cl.sdsc.edu/ce.html)
    - FATCAT (http://fatcat.burnham.org/)

### 階層的立体構造分類データベース

- ・立体構造を立体構造類似性に基づいて階層的に分類したデータベース
  - SCOP (http://scop.mrc-lmb.cam.ac.uk/scop/) 主に人手による分類
    - Class  $\rightarrow$  Fold  $\rightarrow$  Superfamily  $\rightarrow$  Family
  - CATH (http://www.cathdb.info/) 主に計算機による分類 Class → Architecture → Topology → Homologous Superfamily
- 例:1HCTのSCOPにおける分類
  - Alpha and beta proteins  $\rightarrow$  SH2-like  $\rightarrow$  SH2 domain  $\rightarrow$  SH2 domain

# SCOPにおける階層

- Family: 配列相同性が概ね30%以上あり、進化 的な類縁関係が明らかなもの
- Superfamily: 配列相同性は低いが、立体構造と 機能の類似性から、進化的な類縁関係が推定さ れるもの
- Fold: 主な2次構造の配置とトポロジーが同じだが、進化的な類縁関係はないもの
   →構造類似性は特定のパッキングやトポロジーを好むタンパク質の物理化学的な性質に起因

http://scop.mrc-lmb.cam.ac.uk/scop/intro.html

# Superfamilyの例

• Actin-like ATPase domain superfamily



・配列相同性が低く、生物学的な機能は全く異なるが、立体構造は類似している

Kabsch & Holmes, FASEB J. 9, 167 (1995).

### 実習課題

- 講義のページのkadai.fastaの配列を持つタンパク質について、以下に答えよ
- 1. このタンパク質の名前は何か
- 2. このタンパク質の立体構造のPDB IDおよび立体構造決 定に使用した方法を答えよ
- 3. Discovery Studioを用いて、タンパク質を「Solid ribbon」、 水分子を「CPK」として立体構造を表示せよ
- 4. このタンパク質はいくつのポリペプチドで機能していると考 えられるか?
- 5. このタンパク質と進化的に類縁関係にあると考えられるタンパク質のうち、立体構造が決定されているタンパク質を 2つ以上挙げ、このタンパク質と、配列および立体構造が どの程度類似しているか答えよ

# 課題の提出

- 課題の回答はメールで寺田宛
   tterada@iu.a.u-tokyo.ac.jpに提出すること
- メールの件名は「構造バイオインフォマティクス基礎課題」とし、本文に、氏名、所属、学生証番号(学生のみ)、課題1,2,4,5の回答を記載し、3の画像(PNG 形式)を添付すること
- メールの送信には、アカウント発行元のWeb mail等 を用いること。その際、メールアドレスやパスワードが ブラウザに残らないように注意すること。(インターネッ トエクスプローラーのメニューから、「セーフティ」→「閲 覧の履歴の削除」を開き、「フォームデータ」、「パス ワード」をチェックして「削除」)